

「思考し、表現する力」を高める実践モデルプログラムとの関連

見いだす

自分で取り組む

広げ深める

まとめあげる

小・国語科

本時間の流れを確認し学習課題をつかむため、**端末を用いてアンケートを実施**し、課題を明確にする。

1 学習場面

教師による教材の提示（一斉学習）

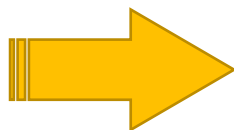
2 本時の目標

時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いに気づくことができる。

3 授業内容をアップデート

Before

挙手や教師の指名によって、質問項目に関する実態を把握する。



After

児童は**端末で読み込んだQRコードからアンケートに回答**し、教師は**結果をグラフ化して提示**することで実態を把握する。

4 学習のポイント

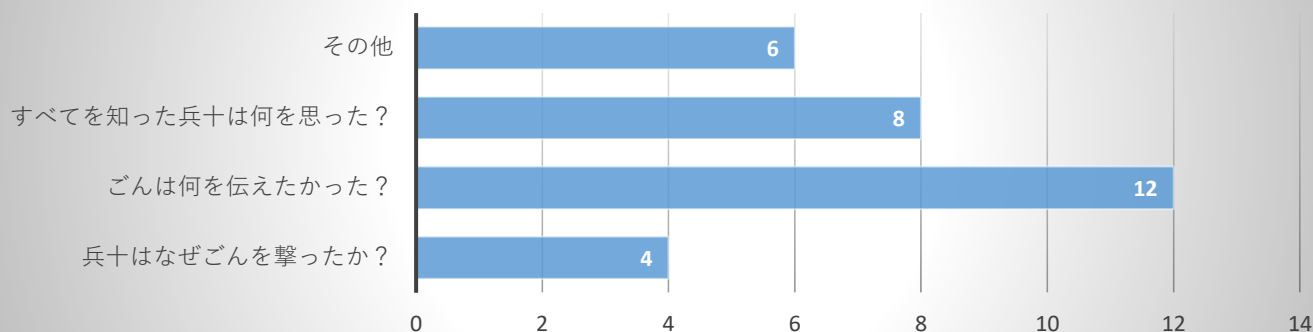
○期待される効果 ★留意点

○調査の結果について、**短時間で、かつ視覚的に把握**することができる。

★教師の期待と違う結果が出てくることもある。

★日常の実態把握や、その場での対応力が求められる。

兵十がごんを撃った！ みんなの疑問



5 情報活用能力との関連

課題の設定	情報の収集	整理・分析	まとめ・表現	振り返り・改善
発見	収集	整理、比較、処理、統計	形成、発信、伝達、表現、創造	振り返り、改善

「思考し、表現する力」を高める実践モデルプログラムとの関連

見いだす

自分で取り組む

広げ深める

まとめあげる

小・国語科

伝えたい相手や目的、内容に合わせた構成を考え、**タブレットのアプリを使って、相手に伝わりやすい発表に使うポスター**を思いや考えを基に創造する

1 学習場面

表現・制作（個別学習）

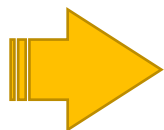
2 本時の目標

伝えたい相手に合わせて、わかりやすいポスターの構成を考える。

3 授業内容をアップデート

Before

時間をかけて手書きで作成したポスターを交流し合う。



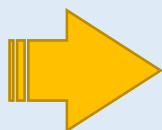
After

相手を意識して内容、文章と絵のバランス、キャッチコピーなどを効果的に配置することが可能。作成時間が短縮され、その分を交流の時間に充てることができる。

4 学習のポイント

○期待される効果 ★留意点

- 構図作成の際、手書きよりも時間短縮で見やすいポスターに仕上がる。
- 手書きでは、何度も「書いて消す」という作業になってしまうが、ICTを活用することにより、レイアウトや文字の大きさや色の変更などが簡単にできるので、様々な見方考え方からポスターづくりができる。
- ★タブレット操作の文字入力では、児童生徒の技能を確認する必要がある。



5 情報活用能力との関連

課題の設定	情報の収集	整理・分析	まとめ・表現	振り返り・改善
発見	収集	整理、比較、処理、統計	形成、発信、伝達、表現、創造	振り返り、改善

「思考し、表現する力」を高める実践モデルプログラムとの関連

見いだす

自分で取り組む

広げ深める

まとめあげる

小・国語科

原稿を基にペアでスピーチ練習をし、**動画に取り合い、画面を見ながら良い点、改善点を指摘し合うとともに、自分で再度動画をチェックし、友達と互いに学び合う。**

1 学習場面

発表や話し合い（協働学習）

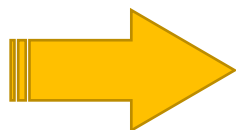
2 本時の目標

友達と交流して、スピーチを改善することができる。

3 授業内容をアップデート

Before

スピーチをお互いに見合い、良い点、改善点を伝え合う。



After

お互いに動画撮影をし、画面を見ながら交流する。また、自分の動画を消音するなどして、姿勢や目線、身振り等に絞って観察し、効果的に伝えるためのスピーチを行う。

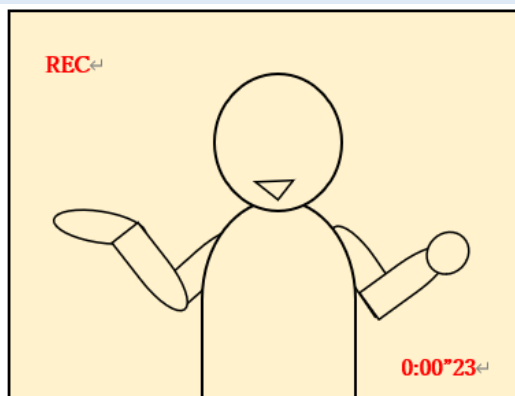
4 学習のポイント

○期待される効果 ★留意点

○効果的な伝え方について思考を広げ、深めることができる。

★友達との共有の時間を十分確保する。

★何度でも繰り返し視聴してもよいことを伝える。



5 情報活用能力との関連

課題の設定	情報の収集	整理・分析	まとめ・表現	振り返り・改善
発見	収集	整理、比較、処理、統計	形成、発信、伝達、表現、創造	振り返り、改善

「思考し、表現する力」を高める実践モデルプログラムとの関連

見いだす

自分で取り組む

広げ深める

まとめあげる

小・国語科

録画機能を利用してレポートの様子を記録に残し、はじめと終わりを比較して、思考の過程を振り返る。

1 学習場面

調査活動（個別学習）

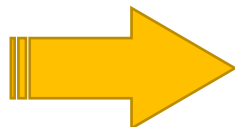
2 本時の目標

取材したことを相手に分かりやすいように、声の大きさや速さなどを工夫しながら順序よく話すことができる。

3 授業内容をアップデート

Before

ペアやグループで互いの発表を聞き合い、改善点を伝えたり、相互評価したりする。



After

はじめと終わりを記録に残すことで、客観的に**自己評価**する。教師による**指導に生かす評価**や相互評価も可能。

4 学習のポイント

○期待される効果 ★留意点

○何度も見直すことができるため、**様々な角度から評価でき、改善点も見付けることができる。**

★同時に録画を行うと、周りの音も入ってしまうので、場の設定が必要である。



5 情報活用能力との関連

課題の設定

情報の収集

整理・分析

まとめ・表現

振り返り・改善

発見

収集

整理、比較、処理、統計

形成、発信、伝達、表現、創造

振り返り、改善